

第30回青森県生協大会報告

(作成：青森県生協連)

- 日時 2014年11月18日(火) 午前10:30～午後2:30
- 場所 リンクステーションホール青森(青森市文化会館)5F 大会議室&ロビー
- 参加 合計345名

| | | | | | |
|---------|-----|--------|---|----------|-----|
| コープあおもり | 130 | 県労済生協 | 3 | 道の駅いしかわ | 2 |
| 県庁・県民生協 | 63 | 八戸市職生協 | 2 | かけあしの会 | 2 |
| 青森保健生協 | 66 | 講演者 | 2 | 高杉そさい研究会 | 2 |
| 津軽保健生協 | 63 | 青森県生協連 | 4 | | |
| 八戸医療生協 | 5 | 東北地連 | 1 | 総計 | 345 |

4. 当日のプログラム

司会：斎藤 勝博(青森保健生協)

| | |
|--------|------------------------------|
| 10:30～ | 開会 県生協連会長あいさつ 平野了三会長 |
| 10:35～ | 記念公演：天笠啓祐氏 テーマ「日本の食・・・ここが問題」 |
| 12:00～ | 昼食休憩・お昼休みコーナー |
| 13:00～ | NPT 代表派遣の取り組み紹介、代表派遣者決意表明 |
| 13:15～ | 被爆者の証言(義之栄光さん) |
| 13:35～ | 会員生協報告、お楽しみ抽選会 |
| 14:25～ | 生協大会運営委員長あいさつ(小笠原邦定氏)、実行委員紹介 |
| 14:30 | 閉会 |

5.

大会の概要



小笠原運営委員長と会場の様子

・11月18日、リンクステーションホール青森で「第30回青森県生協大会」を開催しました。県内各地から345名の参加がありました。

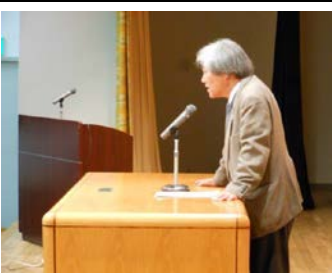
・司会の斎藤さん(青森保健生協)の開会宣言、平野県生協連会長が「輸入に頼らない食が大切」と挨拶した後、天笠氏の記念講演へ引き継ぎました。

・天笠氏は、中国の餃子事件、レストランの食材偽装表示問題などが何故起こったかについて、その背景を解説し、その後も続いた遺伝子組み換え食品、残留農薬

問題など参加者が驚く事例を報告されました。特に強調していた食品添加物については、許可された添加物が大幅に増えたこと、表示されない添加物が多数あること、また遺伝子組み換え食品が多数輸入されている実態、それを許している行政の対応を批判しました。食の安心安全のためには食にこだわること、表示をよく見て知ること、そして忘れないこと！と締めくくりました。

・昼食をはさんで午後は、来年開催のNPT 代表派遣者の決意表明、被爆者の証言がありました。証言者の義之(ぎし)さんは今証言しておかないといけないという想いで、お話しされました。

・終盤、青森新品種「ほっかりん」(5K)などの景品が当たる恒例「お楽しみ抽選会」が行われ、最後に大会企画運営に携わった企画運営委員メンバーの紹介と、小笠原邦定大会企画運営委員長の挨拶をもって終了となりました。



開会挨拶：平野会長



記念講演：天笠啓祐さん



証言：義之栄光さん



代表派遣の姥名さん(県庁生協)、(左)須々田さん(コープあおもり)